



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。

独立行政法人日本スポーツ振興センター



JAPAN WINDSURFING ASSOCIATION



2026 ウインドサーフィン Techno293 全日本選手権 2026 ウインドサーフィン Techno293 PLUS ジャパンカップ

<レース公示>

開催日程

令和8年10月3日(土), 4日(日)

開催場所

神奈川県鎌倉市材木座海岸および同沖合

共同主催

特定非営利活動法人チャレンジスポーツクラブ
一般社団法人日本ウインドサーフィン協会

公 認

公益財団法人 日本セーリング連盟 (2026-41)

協 力

鎌倉マリンスポーツ連盟、鎌倉漁業協同組合、他

運営協力

有限会社アクアティック

協 賛

Take Outdoors Japan

＜レース 公 示＞

1. 適用規則

- (1) セーリング競技規則 2025-2028（以下 RRS という）および RRS 付則 B に定義された規則。
- (2) テクノ 293 クラスはテクノ 293 プラスクラスルールに準ずるが、クラスルール C9.1(b)のセールサイズ 8.5 の使用は認めない。またクラスルール E1(b)の 50cm フィンも使用できないものとする。
- (3) テクノ 293 プラスクラスはテクノ 293 プラスクラスルール。

2. 広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求することがある。

3. 競技種目およびクラス・参加資格

- (1) テクノ 293 全日本選手権クラス(男/女)
 - A) 本年度日本セーリング連盟の会員であること。
 - B) 日本ウインドサーフィン協会の会員であること。
 - C) 本年度の各予選大会に於いて、参加資格を取得した選手。
 - D) 日本ウインドサーフィン協会競技部が参加を認めた選手。
 - E) 参加資格を取得していないU17 ディビジョン以下の選手で、ウインドサーフィン協会強化育成委員会および保護者が参加を認めた者。
※大会開催年の 12 月 31 日現在の年齢を適応する。
- (2) テクノ 293 プラスジャパンカップクラス (男/女)
 - F) 日本ウインドサーフィン協会の会員であること。

4. 参加料等及び参加申し込み方法等

- (1) 参加意思のある艇は、下記 URL「WEB エントリーフォーム」から登録を行うこと。

<https://forms.gle/2Xa53YDNGY85Prff8>

- (2) テクノ 293 クラス、テクノ 293 プラスクラス 10200 円（200 円は事務手数料としていただきます）
※申込期限以降のエントリーの場合はレイトエントリーフィー2000 円が別に必要となる。
- (3) 問い合わせ先
〒248-0013 神奈川県鎌倉市材木座 6 丁目 1 6-3 5
セブンシーズ内 テクノ全日本大会事務局
電話 0467-22-5050 Mail npo@7seas.jp
- (4) 参加料
期日までに振込にて支払うこと。
- (5) 申込期限
 - A) 正規エントリー 9 月 23 日（水）までに登録と振込を完了させること。
 - B) レイトエントリー 9 月 27 日（日）までに登録と振込を完了させること。

5. レーススケジュール

(1) 日程

10 月 3 日（土）

9:00~9:30	受付、インスペクション
9:45	開会式・艇長会議
10:25	第 1 レースの予告信号時刻 レース数：1 日最大 4 レース。

10 月 4 日（日）

9:30	その日の最初のレースの予告信号時刻 レース数：1 日最大 4 レース。
16:00	閉会式（スケジュールを早める事があります）

- (2) 最終日のレーススタート信号は、15:00 以降に発することはない。

6. エキップメント

- (1) 事前計測は行わないが、大会期間中計測を実施する場合がある。

- (2) 艇体、セイル等のエキップメントは、認可製造者によって張りつけられた固有のシリアル番号可能な状態に保つこと。大会期間中にピックアップチェックを実施する場合がある。
- (3) セイルナンバー
- A) 参加選手はセイルナンバーを RRS 付則 G・付則 B9 およびセイルナンバーについてのルールと解釈例について <http://www.jw-a.org/pdf/sail_rule.pdf> のとおり表記するものとし、これに違反した選手は RRS77 のとおり本大会に参加することができない。大会参加後に表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。
- B) ナンバーが他の選手と重複した場合は、JWA 登録ナンバーが優先される。

7. 帆走指示書

帆走指示書は大会当日の受付時に入手できる。

8. レースエリア

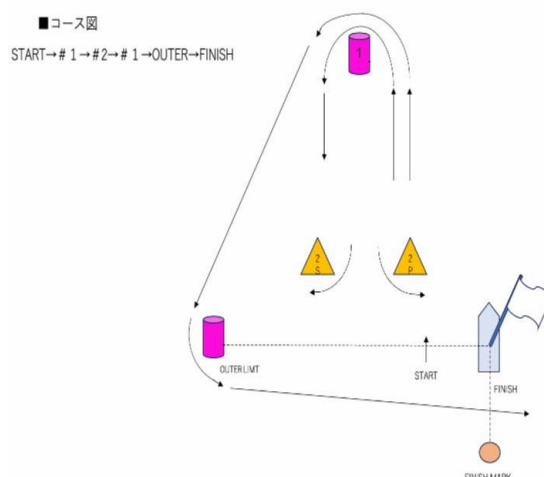
レースを行う海面は鎌倉由比ヶ浜湾内と湾外の海域とする。

(添付図参照)

9. コース

(1) 使用するコースレイアウトはレース当日の海面状況により決定される。

(例) スタート→マーク①→マーク②(ゲート)→マーク①→アウターマーク→フィニッシュ



(2) コース、スタート・ラインはテクノ 293 クラスとテクノ 293 プラスとで合同で使用する。

10. レース回数

- (1) 1日最大4レースとし、2日間で最大7レース行う。
- (2) 最低1レースをもって大会成立とする。

11. 賞・表彰

(1) テクノ 293 クラス

A) 表彰

男女それぞれ上位3名に、日本セーリング連盟より表彰状を授与する。

B) 賞

参加数に応じて副賞を授与する。

A17・U17・U15(男・女) 参加数に応じて賞を授与する。

(2) テクノ 293 プラスクラス

A) 表彰

成績上位者を表彰する。

B) 賞

参加数に応じて副賞を授与する。

12. 安全規定

- (1) 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。この項は RRS 第4章前文及び RRS40 を変更している。

- (2) レース委員会またはジュリーは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命じることができる。この項は RRS3 を変更している。ただし、救済の根拠とはならない。
13. サポートボート
- (1) サポートボートは、レース初日の最初の予告信号 60 分以前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。
- (2) サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。
- A) 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。
- B) 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
- C) サポートボートは、事前にヨットモータボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。
- D) サポートボートは大会実行委員会よりサポート艇用のフラッグを受け取り掲揚しなければならない。

14. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。「RRS3『レースすることの決定』」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

15. 承諾事項、その他

- (1) テクノクラスルールは<<https://www.sailing.org/classes/techno-293#Documents>>
テクノプラスクラスルールは
<<https://www.sailing.org/classes/techno293plusnew#Documents>>を参照。
- (2) 協会登録、セイルナンバー等は JWA ホームページ <http://www.jw-a.org/> を参照
- (3) 天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。
- (4) 当日、気象警報などが出た場合は中止とする。
- (5) 必ずスタッフの指示に従うこと。
- (6) 競技に参加するための道具は各自用意すること。
- (7) 自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。
- (8) 浮力体を必ず各自用意しておくこと。
- (9) 参加申込に際しては、個人情報取り扱い、写真等の取り扱いについても上記利用規約記載の通りとし、参加者はそれを承諾する。
- (10) 選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する場合があることを参加者は承諾する。
- (11) 大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその複製の制作、使用および随時の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする
- (12) 近隣での無断駐車はしないこと。
- (13) ごみを投棄しないこと。

添付：予定されているレースエリア

